

LESSON

7

TERRORISM/MISSILE
～テロ/ミサイル～

岩手県では2019年から2020年にかけて、大きな国際スポーツイベントが開催されます。開催までの期間に、テロ攻撃やミサイル発射実験が発生した場合の対応を考えておくことが非常に重要になります。

今日の目的：

- ・テロその他の人為的な緊急事態に関連する語句、表現、シナリオを学ぶ。
- ・さまざまな脅威の性質とそれに対する備えについて学び、自分自身、周りの人、在日外国人をサポートできるようにする。

語句

<input type="checkbox"/>	標的にする	target
<input type="checkbox"/>	～上空	over -
<input type="checkbox"/>	ミサイルを発射する	launch a missile
<input type="checkbox"/>	弾道ミサイル	ballistic missile
<input type="checkbox"/>	着弾する	land
<input type="checkbox"/>	警報が解除される	warning is lifted
<input type="checkbox"/>	テロ対策	counter terrorism measures
<input type="checkbox"/>	化学兵器	chemical weapon
<input type="checkbox"/>	生物兵器	biological weapon
<input type="checkbox"/>	サイバーテロ	cyber terrorism
<input type="checkbox"/>	警備	security
<input type="checkbox"/>	爆発物	explosives

宿題：Jアラートとは何ですか。

テロ、ミサイルを話題にする際の注意：特定の人種や民族を非難しないこと。

2つの動画：“Stay Safe” and “RUN HIDE FIGHT”

深刻なテロ被害に遭った国（米英）が作成した動画2本をご紹介します。

岩手では地震や津波に関する実務的なマニュアルが充実しているように、両国ではテロ対策ハンドブックや動画がさまざま制作されています。

1. NCPC (UK): Stay Safe

<http://www.npcc.police.uk/NPCCBusinessAreas/WeaponAttacksStaySafe.aspx>

映画「Stay Safe: Firearms and Weapons Attack（安全に：銃器、武器による攻撃）」（全4分）は、安全確保のための3つのポイントを取り上げています。

映画と合わせてオンラインリーフレットも作成されています。

事件に巻き込まれた場合に多くの場面で役立つ「逃げる」「隠れる」「通報する」のアドバイスを提案します。

RUN



Run to a place of safety. This is a far better option than to surrender or negotiate. If there's nowhere to go, then...

HIDE



It's better to hide than to confront. Remember to turn your phone to silent and turn off vibrate. Barricade yourself in if you can. Then finally and only when it is safe to do so...

TELL



Tell the police by calling 999.

RUN（逃げる）：安全な場所に逃げる。降伏したり交渉を試みようとするよりも助かる可能性が高い。逃げられない場合は↓

HIDE（隠れる）：立ち向かうより隠れる。電話は音やバイブレーションを消すように。できれば周りに頑丈なものがある場所に隠れる。最後は、安全が確保された場合のみ↓

TELL（通報する）：999で通報する。

2. Texas (USA): RUN HIDE FIGHT

https://www.youtube.com/watch?v=tCEuKEIbB_M

RUN/ESCAPE（走る／逃げる）：可能な場合

HIDE（隠れる）：逃げる事ができない場合

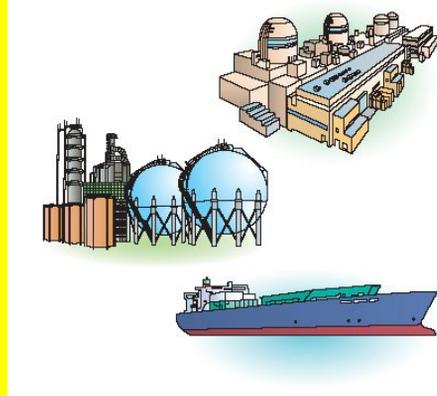
FIGHT（戦う）：最後の手段としてのみ

日本政府が発信する情報

日本政府は内閣官房国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp/pc-index.html>) にて、日本語、英語で情報を提供しています。慣れておきたい状況や表現がたくさん紹介されています。以下では日本でも起こりうる事態を取り上げました。

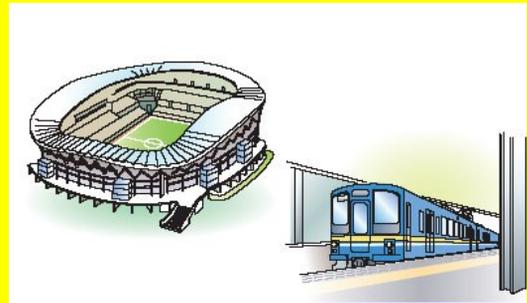
危険物質を有する施設に対する攻撃

原子力発電所
石油コンビナート
可燃性ガス貯蔵施設
危険物積載船



多数の人が集合する施設

スポーツ施設
大量輸送機関



化学兵器、生物兵器

ダーティーボム（放射性物質を散布-RDD）
生物剤、化学剤



交通機関を用いた攻撃

航空機などによる自爆テロ
建物や集団への車両暴走など



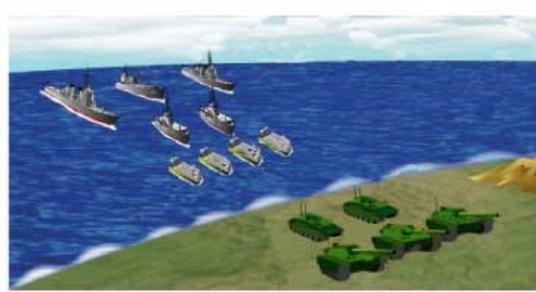
日本政府が発信する情報

日本政府は内閣官房国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp/pc-index.html>)にて、日本語、英語で情報を提供しています。慣れておきたい状況や表現がたくさん紹介されています。以下では日本でも起こりうる事態を取り上げました。

着上陸侵攻

船舶
航空機

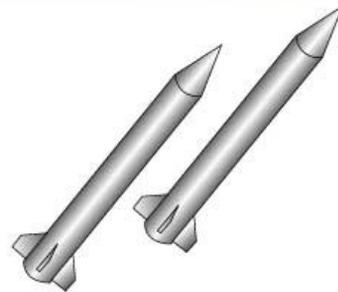
Landing Invasion



弾道ミサイル攻撃。弾頭に注意

通常弾頭
NBC（核、生物、化学）

Ballistic Missile Attacks



ゲリラ・特殊部隊による攻撃の場合

攻撃目標となる施設、使われる兵器によっては大きな被害が生ずる恐れも。

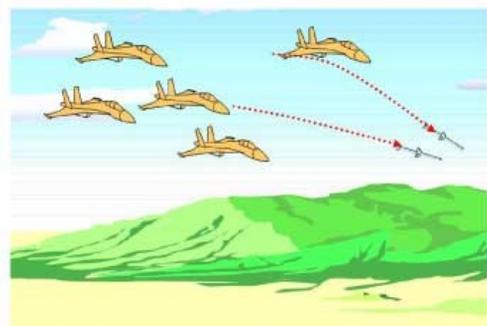
Attacks by Guerrillas/ Special Operation Forces



航空攻撃の場合

都市部の主要な施設やライフラインのインフラ施設が目標となることも想定される。

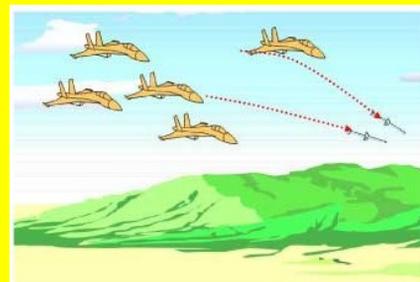
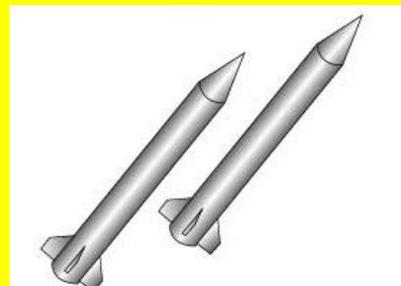
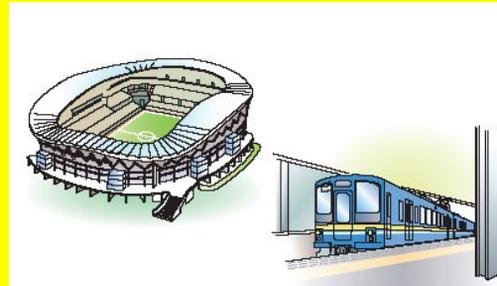
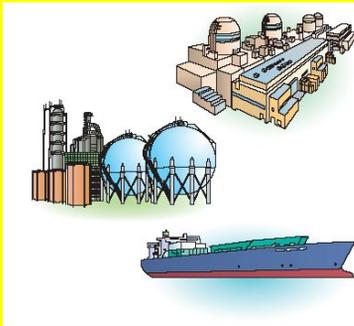
Aerial Intrusion



危険性と想定されるシナリオを理解する

前ページでは、どのような危険性があるかを紹介しました。次は、シナリオと攻撃の性質を、次の5つの問に応えながら考えてみましょう（配布資料を参考に）。

1. 兆候を察知しやすいか？それはなぜか？
2. 攻撃目標の範囲は？（狭いか広いか）
3. 警報は出されるか？
4. 事前に備えられるものか？
5. 実際に発生したら、どのように身を守るのか？



練習しよう – こんなことは初めて！

武装攻撃やテロが生じた場合の対応は、外国人のほうが詳しいかもしれません（きいてみましょう）。今回は、去年の夏に大きな混乱を招いたミサイル警報に注目してみます。

ウィリアムの紹介



ウィリアム

ウィリアムは2000年から日本で暮らしています。昨夏、日本で初めて体験するできごとがありました。ミサイル警報です。

1

<<ある朝、ウィリアムの電話に警報が届きました。テレビでも同じメッセージが流れています。「ミサイル発射。ミサイル発射。ミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難してください」。すぐにウィリアムからあなたに電話がかかってきました。>>

ウィリアム：もしもし。あの警報は何だったの？ミサイルか何か？

あなた：そうみたいだね。こう書いてある（メッセージを訳してあげてください）

ウィリアム：でも...（いろいろと聞きたいことがあるようです）

<<すると別のメッセージが届きました。「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください」>>

会話を続けてください。

2

<<あなたとウィリアムは、他にも混乱している外国人を助けることにしました。日本語がまったくわからず、英語で具体的な情報を求めている人もいます。でもその情報はどこにも公開されていません。>>

ウィリアム：英語のニュースサイトやウェブサイトはある？

あなた：（アドバイスしてください）

ウィリアム：これについて最新情報は見つかりますか？Facebookで友達に伝えたいんだけど。

<<するとまた別のメッセージが届きました。「北朝鮮西岸から午前5時58分頃に発射された弾道ミサイルが日本上空を通過、6時6分頃に襟裳岬の東1180kmの太平洋上に落下しました」>>

会話を続けてください。